

平成 27 年第 1 回定例会 防災警察常任委員会

平成 27 年 3 月 10 日

意見発表

鈴木委員

私の方から、安全防災局、そして警察の方に御要望と御意見を申し上げたいというふうに思います。

まず、安全防災局関係につきましては、今般津波対策について大変に高い津波が来るということで、また広範囲な影響が出るという情報、報告を頂いて、感謝しております。

しかし、委員会の中でも申し上げたとおり、この津波自体は 2,000 年から 3,000 年に一遍だなんていうようなことを聞くと、果たしてこういう広報が必要なのかどうかという問題もあるだろうと。そういう中で、九つある津波の発生が予測される地震や、また震災というような問題の中で、いかに市町村に分かりやすく、津波対策ということについて、また津波はどのように起こるのかということ、どのようにつなげていくのかというための協議をなるべく早く進めていただき、県民に分かりやすい津波被害予測というのをつくっていただきたいというのが第 1 点です。

第 2 点目は、委員会でもお話しさせていただいたとおり、鉄道問題をどうするんだと。要するに、海側から山側に抜けるのに、JR はじめ数多くの鉄道が県内を走っている中で、大変に高い網状の線路内に立ち入れないという状況下で、果たして海側から山側に何万人もの方たちが退避するためには余りに不条理な状況ではないのかというふうに思っています。特に、江の島も含めて、いろいろな状況もあるかと思えます。是非とも海側に近いところから、踏切対策も含めた鉄道対策について一刻も早く手を打っていただきたい。また、防災計画等に詳細に反映していただくことを 2 点目として要望したいと思います。

3 点目ですが、性暴力ホットラインについて、委員会の中でも御要望申し上げましたが、大変に予算のない中、365 日 24 時間電話で対応していただいていることに対して大変に感謝申し上げます。しかし、世代が世代で、インターネット、そしてまたスマホ等の、ある意味で IT 時代、IT 世代と言われる方々にとってみると、そういう方々がほぼ対象になるかと思うんですが、そういう方々に対しては、やはりメールやインターネットを活用した、どのような施策が今後必要なのかということが問われていくだろうと。これについて一刻も早く対応しないと、確かにもう電話等でやってくださるかもしれないけれども、やはり相談しづらいことであるがゆえに、メール等の活用も、これはしていかなければならないのではないかと。ということで、当然、予算の問題や、今まで足りない人員を割いていただいているわけですから、それを今すぐには申し上げませんが、そのインフラづくりをなるべく早くお願いをしたいというのが、安全防災局関係です。

警察の関係につきましては、委員会の中でもお願い申し上げましたが、毎年採用試験の志願者が少なくなっている状況がある。ましてや 5 年後にオリンピックを近くにして、テロ対策などますます皆様方の責任というのが重くな

っている状況の中で、より優秀な警察官をどのように採っていくのかということとは、大変喫緊の課題ではないかと思えます。神奈川県警の警察官になりたいと、こういう採用試験に応募できるようなシステムづくりを、またインフラづくりを是非ともお願いしたいというのが1点でございます。

2点目は、女性警察官の採用についてでございます。年々、先ほどから申し上げているように採用が少なくなっていく状況下の中に、女性警察官の配置問題、また女性警察官の活用ということが大きな課題になっていくかというふうに思えますので、配置並びに活用について特段の御配慮を賜りたいということと同時に、私はこれだけテロ、また大変に通り魔的な事件が多くなってきている中で、女性警察官の方々の身を守るための訓練や、また場所ということについて、もう一度御検討を賜れば有り難いと、このように思っているところでございます。

以上2点、警察関係の方に御要望申し上げて、諸議案に対して私は賛成させていただきます。